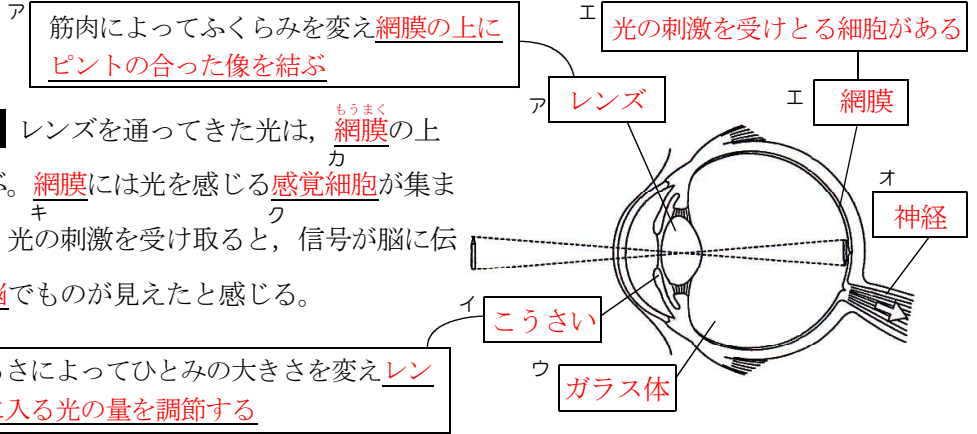


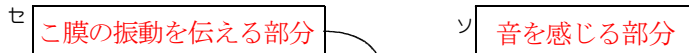
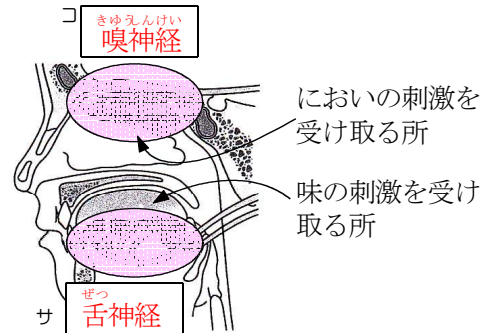
刺激を受ける器官



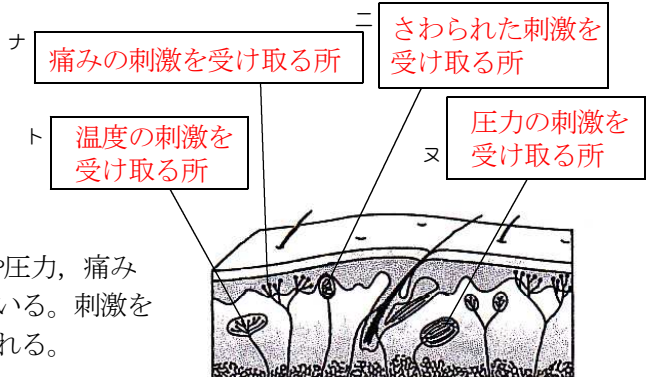
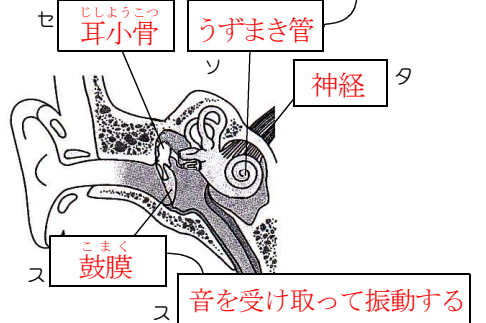
目のつくり レンズを通ってきた光は、^{もうまく}網膜の上に像を結ぶ。網膜には光を感じる感覚細胞が集まっていて、光の刺激を受け取ると、信号が脳に伝えられ、脳でものが見えたと感じる。

鼻と舌のつくり 鼻の奥は粘膜におおわれていて、においを感じる感覚細胞がおる。においのもととなる物質がこの細胞に触れると、刺激が脳に伝えられ、においとして感じられる。

舌には味を感じる感覚細胞が並んでいる。細胞が味の刺激を受け取ると、信号が脳に伝えられ、味を感じる。



耳のつくり 音は空気の振動として伝わり、耳の奥にある鼓膜を振動させる。その振動は、さらに耳小骨を振動させ、うずまき管に伝えられる。うずまき管が音の刺激を受け取ると、信号が脳に伝えられ、音が聞こえたと感じる。



皮ふのつくり 皮ふの中には、温度や圧力、痛みなどの刺激を受け取る所が分布している。刺激を受け取ると、その信号が脳に伝えられる。